２．重要な非資金取引の内容
　現物寄附等の受入による資産の取得
　建物　3,769,466円
　工具器具備品　63,187,308円
　図書　7,380,809円

Ⅳ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係
　引当外退職給付増加見積額のうち国又は地方公共団体からの出向職員分　79名　73,467,254円

Ⅴ．減損関係
１．減損の兆候が認められた資産
　資産の種類　電話加入権
　使用用途及び使用場所　通信の用　宇都宮大学全団地
　帳簿価額等の概要　1,026,040円（117回線）
２．認められた減損の兆候の概要
　市場価格が帳簿価額に比べ50％以上下落しており、減損会計基準「第３減損の兆候」第２項⑷に該当し、減損の兆候が認められました。
３．回収可能サービス価額（使用価値相当額）が帳簿価額を下回っていないため、減損の認識は行っておりません。

Ⅵ．金融商品の時価等の開示
１．金融商品の状況に関する事項
　当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については金融機関からの借入れに限定しております。
　資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。
　借入金の使途は学生寄宿舎改修整備のための資金であり、主務大臣により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。
２．金融商品の時価等
　期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴投資有価証券	739,688,261	753,929,826	14,241,565
⑵現金及び預金	2,370,651,693	2,370,651,693	0
⑶未払金	(2,224,810,689)	(2,224,810,689)	0

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。
（注１）金融商品の時価の算定方法
⑴　投資有価証券
　時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。
⑵　現金及び預金
　これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
⑶　未払金
　短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
（追加情報）
　当事業年度より、「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号　平成20年３月10日）及び「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号　平成20年３月10日）を適用しております。

Ⅶ．重要な債務負担行為

（単位：円）

件名	契約金額	平成22年度支出予定額
環境・エネルギー光学評価診断システム	71,022,000	71,022,000
宇都宮大学陸上競技場サッカーグランド改修工事	32,308,500	32,308,500
宇都宮大学石井町第２団地学生寄宿舎第２寮耐震改修工事	11,340,000	11,340,000
宇都宮大学本部庁舎改修工事	37,275,000	22,365,000
活性炭吸着装置付ドラフトチャンバー	2,836,050	2,836,050

Ⅷ．重要な後発事象
　該当事項はありません

附　属　明　細　書

当事業年度の附属明細書は、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（平成20年２月13日最終改訂　文部科学省　日本公認会計士協会）の様式に基づき作成している。

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却費相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：円）

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
						当期償却額		当期損益内	当期損益外		
建物	13,510,190,318	1,816,214,462	350,430,339	14,975,974,441	4,066,927,181	612,895,065	0	0	0	10,909,047,260	
構築物	1,261,706,179	51,198,601	28,415,877	1,284,488,903	756,448,804	45,864,739	0	0	0	528,040,099	